

第3回 象牙取引規制に関する有識者会議 中泉拓也委員提出資料

市場閉鎖よりも需要抑制 — 象牙取引の市場構造と対策 —



市場閉鎖よりも需要抑制

象牙取引の市場構造と対策

1. 目標
2. 違法取引の可能性
3. 解決策(具体的な対策)
4. 結語

中泉拓也 関東学院大学 経済学部教授
第三回 象牙取引の規制に関する有識者会議報告資料

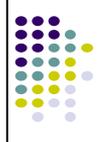
2020年12月23日



1. 目標

象牙の違法取引を根絶すること

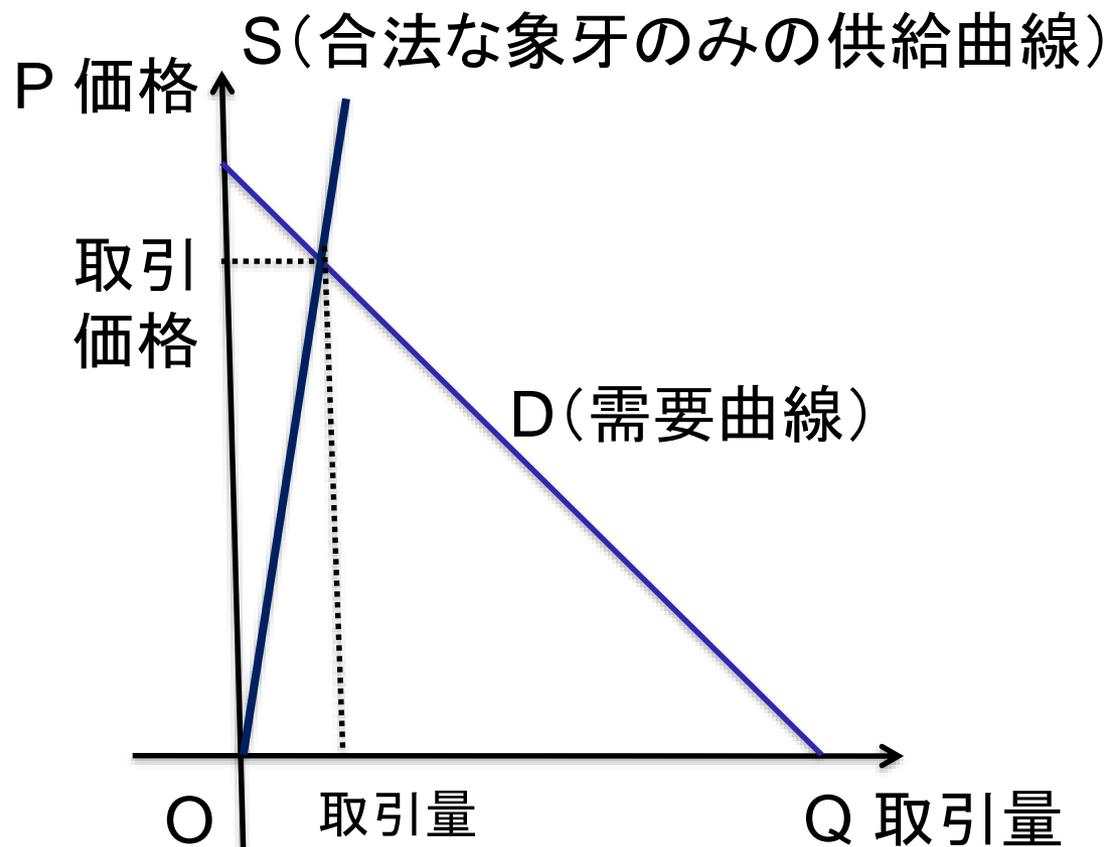
1. 合法的な象牙取引まで禁止すべきでない。
 - 既存資源（流通在庫）の有効活用
 - 伝統文化の維持（三味線のバチ等）
 - サステナブルな象牙管理を行うための資金の提供 例南アフリカ
2. 合法と違法とを分離
 - RFIDなどによる合法的な象牙の認証
 - 合法的な象牙を取り扱う業者の認証
 - 適法な象牙で作成された製品のラベリング



2. 違法取引の可能性

(1) 需要が大きいい場合の市場

需要が大きいい場合
合法的象牙の供給
のみでは価格が非
常に高くなってしま
う。





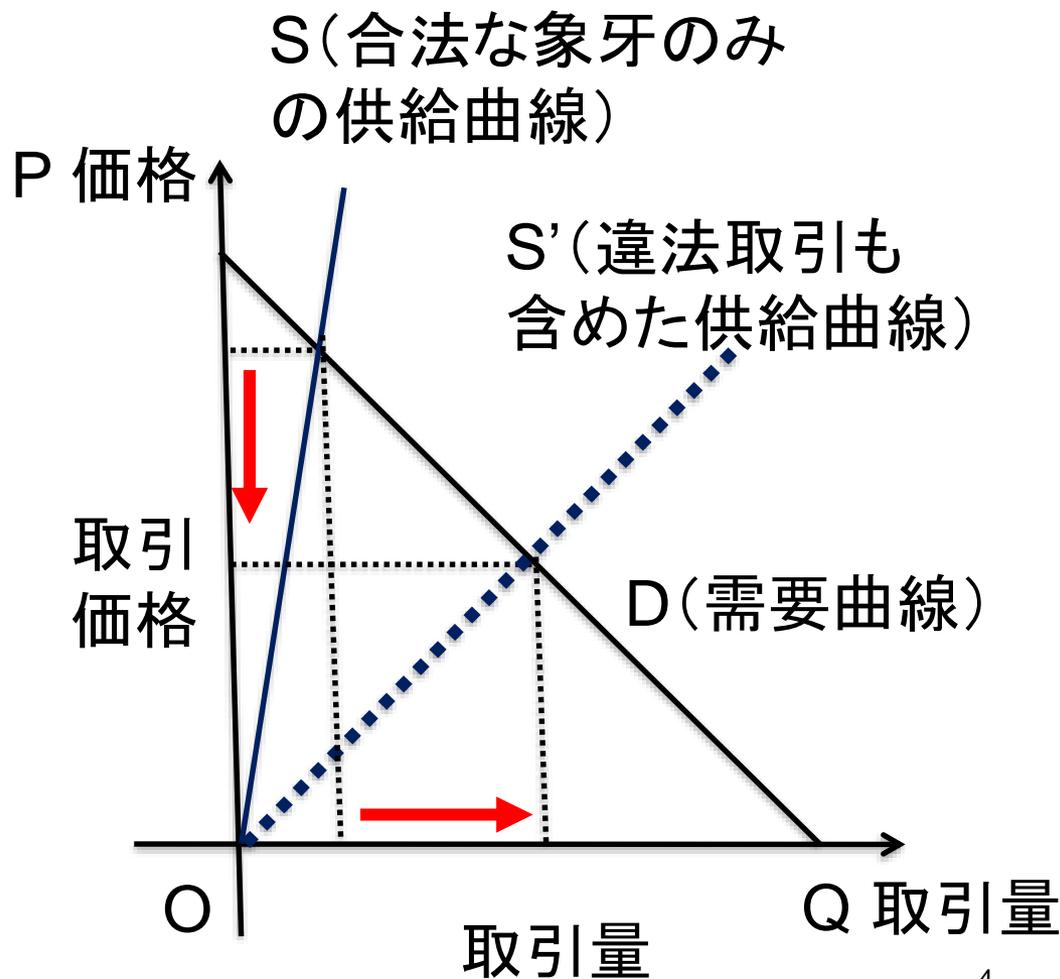
2. 違法取引の可能性

(2) 違法取引の参入の可能性

価格が高い場合、
違法取引が参入する
可能性が高まる。

なお、違法取引を市場
で禁止しても、需要が
大きい場合、ブラックマ
ーケットが発生し、規制
するのは困難。

例：禁酒法





2. 違法取引の可能性

(3)違法取引の規模が不確定

問題点: どれだけ違法取引が存在するかが明らかでない。

c.f. 禁酒法下の統計も存在しない。

肝硬変やアルコールの密売の摘発から推計

結論: 短期的には減少、長期的には限定的、組織犯罪が増加した。(Dills et al 2005)

情報がないと、取引のほとんどが違法取引と誤解される可能性も。



2. 違法取引の可能性

(4)市場の閉鎖による問題点

また、仮に需要が大きい場合、市場そのものを閉鎖すると、**潜在的な価格は高い**ため、密猟のインセンティブが高まり、違法取引が存続する懸念が大きい。

※市場を閉鎖するという考えは、高い価格というシグナルを出さないというアイデアがあると思われる。ただし、禁酒法の例を考えると、組織的な活動は増大し、国際的な犯罪組織、テロリストの資金源となる懸念。

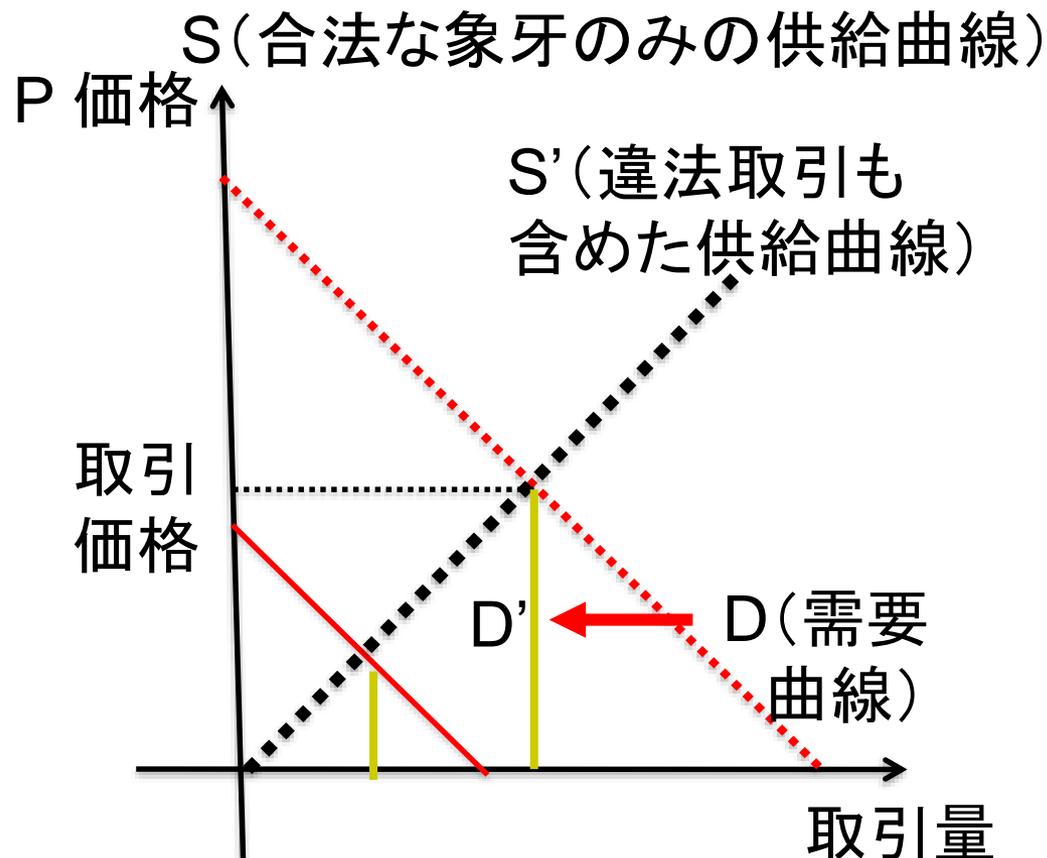


3.1 解決策:需要の削減

経済学の教科書で掲載される最善策

→需要を減らす。

→価格低下で違法取引のインセンティブが大幅に低下。



結論:需要を削減した上で、違法取引の根絶を目指す。



3.2 具体的な対策

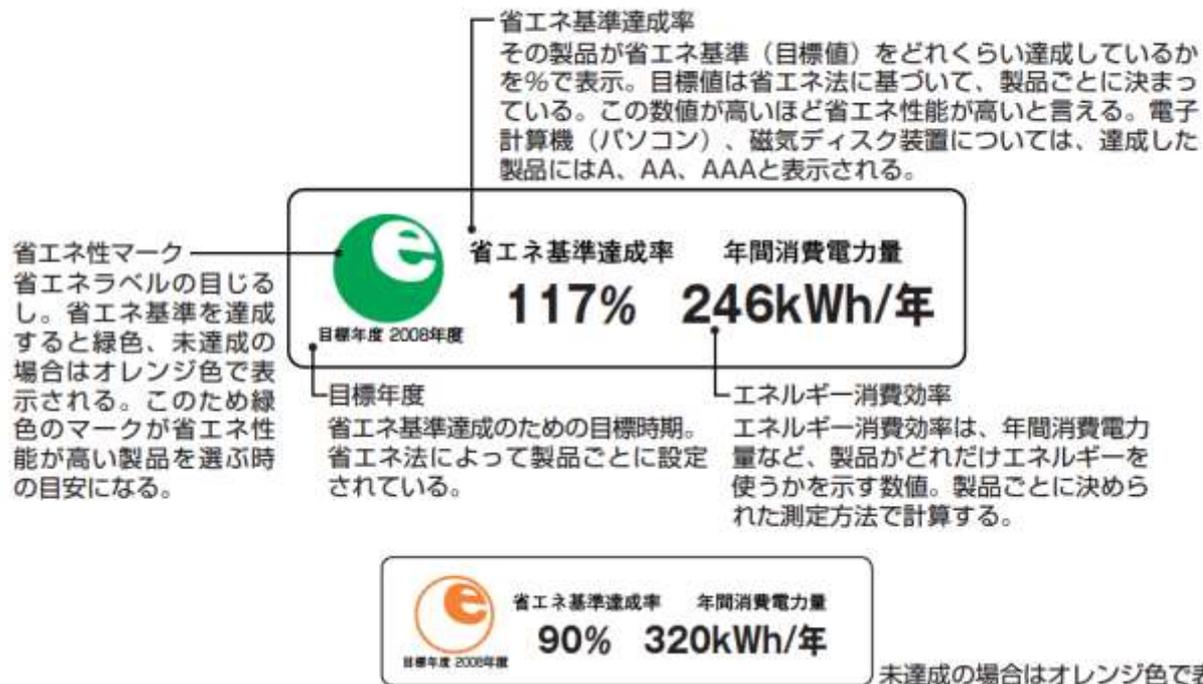
1. 実需の削減。
 - 印鑑の材料として象牙の利用を減らす。
 - PR、啓発活動により象牙を材料とする印鑑の需要を下げる
 - 象牙に代わる代替原料の開発。
2. 市場から違法な象牙の取引を減らす。
 - 合法的な象牙の認証制度を創設
 - RFIDタグなどを利用してトレーサビリティを高める。
 - 合法的な象牙による印鑑へのラベリング



3. 具体的な対策(ラベリングの利用)

参考: 経産省のトップランナー基準(2005年版)で利用されたエコラベル。基準達成を緑、未達成をオレンジ色でラベリング。

図11 省エネルギーラベリング制度(省エネラベル)の表示例

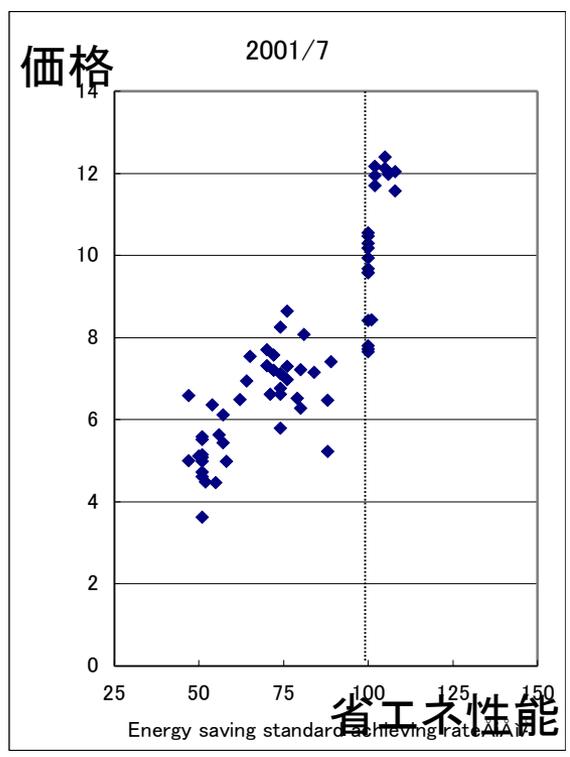




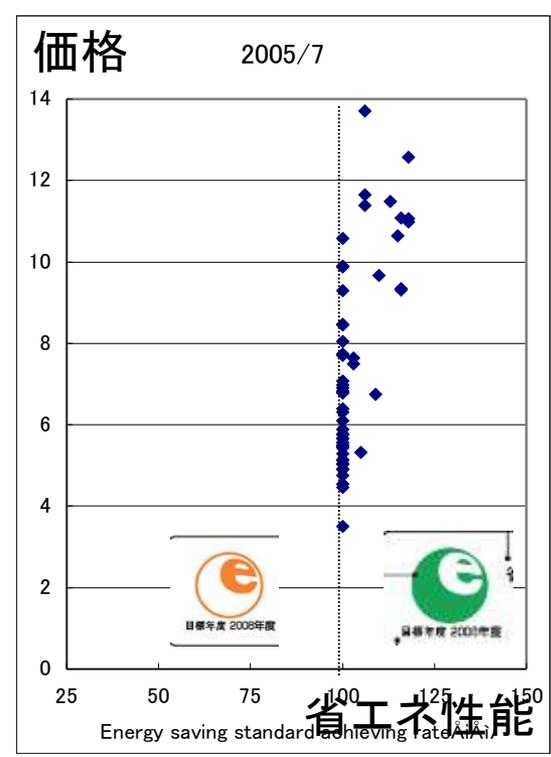
エコラベル導入の結果 未達成の製品が市場から消失。 色を変えるだけで効果を発揮。

2.2 KWの小型エアコン市場の製品の省エネに関するトップランナー基準

基準の実施前



基準の実施後



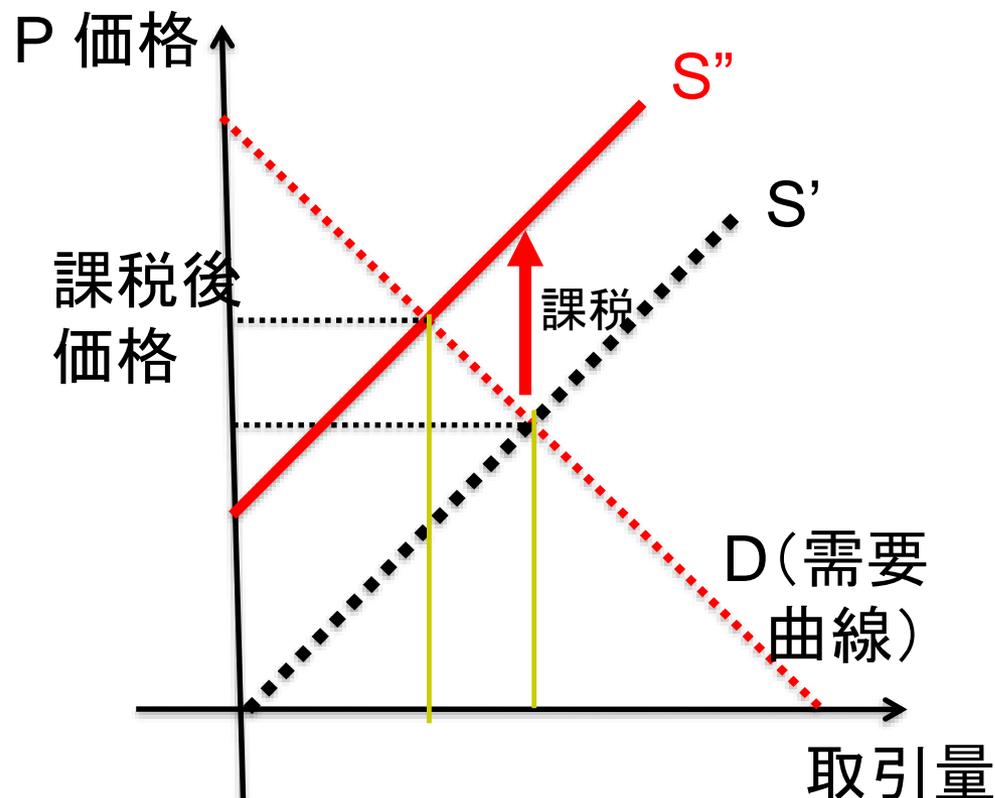


3. (参考) 更に効果的な対策

国レベルの場合

経済学の教科書で
掲載される最善策
→ 課税(c.f 酒税・揮
発油税)

→ 税引後価格低下
で違法取引のイン
センティブは低下。



更に、販売価格の上昇により、需要の抑制にもつながる。



4. 結語

- 象牙の違法取引を根絶することが目標
- 現状の供給に見合うように需要を抑制することが不可欠である。
- その上で、認証制度、トレーサビリティの向上、ラベリングの導入を提案したい。
- また、合法的な取引を抑制し、違法な取引を助長する市場の閉鎖には断固反対したい。